

よむよむ Spring No. 9

R2.3.16(月)

お待ちしておりますわ。うふっ



「あやしの保健室
③ 学校のジバクレイ」
染谷果子・作 (小峰書店)
NDC. 913

□ あの妖乃先生にまた会える！
なその養護教諭 妖乃先生シリーズ
第3巻です。

□ 来年閉校になる風坂小学校に
新任養護教諭としてやってきた妖乃。
さびしさ、憤り、反発……
愛着のある学び舎の閉校を前に
いろいろなもやもやした気持ちをかかえ、

心ゆれる子どもたちを前に、妖乃は期待で胸が高鳴る。
(ああ、今年こそ子どもたちの「やわらかな心」を手に入れることができますわ…)

□ 子どもたちが傷ついた心を保健室に置いて、ほしい。
そうなるように仕向ける。
樹齢三千年の巨木の樹液で作った「守護ネイル」。
原生林に生き残る粘菌で作った「すべすべクリーム」。
季節外れのツタの葉で作った「粉絵の具」。
悩める子どもたちに怪しげな特製アイテムを差し出す妖乃。
すべては「やわらかなみずみずしい心」を手に入れるため。…けれど。

おえかきしたいひとー！



「みらいのえんそく」
ジョン・ヘア 作
(あすなろ書房) えほん

- えんそくは 月りょうこう。
月からながめるちきゅうは なんてきれい！
子どもたちは 大よろこびだ。
しかし じけんが は、せいた。
クレーターのかげで うたたねしていた子を ひとりのこして
ほかのみんなは うちゅうせんで 帰、て、し、ま、た、の、だ！
- 「しょうがない。絵でもかこう」
スケッチブックをひらく 子どものうしろには いつのまにか
きょうみしんしんで のぞいている ひとつ目のうちゅう人たちが……
- はじめて 色あざやかなクレヨンを手にして
大はしゃぎする はいいろのうちゅう人たち。かわいらしいなあ！
みらいのえんそくは こんなだといいいね！

□ 卒業の日、用務員さんのジバクレイといっしょに
講堂の天井に 子どもたちへのプレゼントを残す 妖乃先生。
じーんとしてしまいました。
増田先生の「いやしの保健室」もすてきてですが
妖乃先生の「あやしの保健室」もいいですよ！